

すまいる VOL41 冬号



院長通信 ～マイナンバー保険証について～



マイナンバー保険証の導入は、日本の医療システムの大きな転換点となっています。厚生労働省は、2024年12月2日以降、新規の健康保険証の発行を終了し、マイナンバーカードを利用するシステムへの移行を進めています。この変更は、医療のデジタル化を推進し、効率化を図る一環として位置づけられています。

しかし、この新システムの導入には多くのトラブルが伴っています。オンライン資格確認の際に別人の健康保険情報が登録されたり、読み取り機の不具合で読み取りができないなどの問題が多発しており、今後に向けての大きな不安要素となっています。

それでも、マイナンバー保険証を受け入れざるを得ない現状があります。2025年12月1日以降は従来の健康保険証が使用できなくなるため、マイナ保険証に一本化されることが予定されているからです。このような背景から、国民は新システムへの移行を余儀なくされています。

*2024.10 現在、マイナンバー保険証がどうしても嫌な方には、新たに「資格確認書」が発行されることがほぼ決定しています。

スタッフ紹介

2月に入職したトランです。

2024年は色々な所に行ってたくさん思い出ができました。2025年はもっと素敵な時間を過ごして行きたいと思います。

事務トラン

年末年始休診のお知らせ

12/28(土)～1/5(日)

※1/6(月)から通常通りの診察です。



Instagram

内科・小児科・胃腸内科・肛門外科

(医)喜多岡医院

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	●	●	/	●	●	●	/
16:00～18:00	●	●	/	●	●	/	/

※受付は診療開始30分前からです

大阪市天王寺区大通3-1-23EMAC Ⅱ201 TEL.06-6771-8025

胃腸のおはなし ～胃腸かぜについて～

「急性胃腸炎」とも呼ばれるこの症状は、多くの人々がよく経験する一般的な健康問題です。初期段階での絶食は、消化器官に休息を与えるために有効です。発症後1日は栄養を胃腸に入れないことで回復を早くします。また食事を再開する際には、消化に優しい食品を少しずつ取り入れましょう。

五苓散や小半夏加茯苓湯などの漢方薬は、その自然な成分とバランスの取れたアプローチで、胃腸のかぜに対する優れた治療法となります。これらの薬は、症状を和らげるだけでなく、体の自然な治癒力を高めるのに役立ちます。下痢止めを服用すると、腸内で細菌やウイルスが繁殖し、悪くすると腎不全をきたすことがありますので決して下痢止めを服用しないでください。

水分補給は特に重要です。脱水を防ぎ、体内のバランスを保つために、十分な水分を摂取することが不可欠です。特に、嘔吐や下痢がある場合には、OS-1のような電解質を含んだ飲料水の摂取も推奨されます。

通常、胃腸のかぜは3～4日で改善することが多いですが、症状が長引く場合や悪化する場合には、医療機関を受診することが大切です。

漢方薬シリーズ ～麦門冬湯～

麦門冬湯は、乾燥した喉や咳に潤いをもたらす漢方薬です。乾いた咳や粘り気のある痰を伴う咳に対して効果があり、かぜの後半のしつこい咳や、気管支炎、ぜん息（せき喘息）などに用いられます。麦門冬湯の主な成分は、麦門冬、半夏、人参、粳米、甘草、大棗です。これらの成分が体内の「気」と「水」のバランスを整えることで、咳を鎮めると考えられています。

東洋医学では、「気」とは生命活動を支えるエネルギー、「水」とは体液を指し、麦門冬湯は、これらの流れを調整し、特に肺や気道の乾燥による不調を改善するために用いられます。

麦門冬湯は、その即効性と比較的飲みやすい味わいから、多くの人々に支持されています。しかし、かぜの引き始めや痰の多い咳などには適していませんので、ただ漫然と咳止めとして服用することはよくありません。